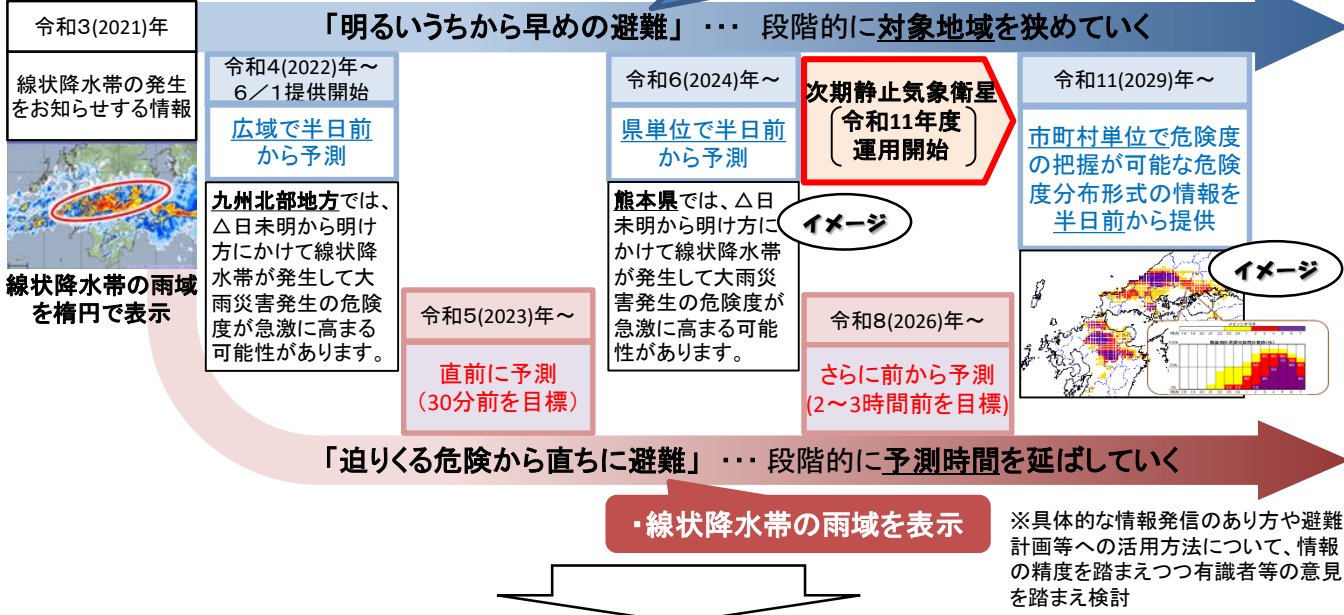


情報の改善

・線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

「明るいうちから早めの避難」… 段階的に対象地域を狭めていく



住民に危機感を伝え、防災対応につなげていく

2. 地震・火山観測体制の強化

502百万円

(1) 地震観測施設の整備

303百万円

(2) 火山監視・観測用機器の整備

199百万円

切迫化する南海トラフ地震等の大規模地震に対する緊急地震速報や津波警報、震度情報等の発表に必要な地震観測体制や、噴火の兆候の把握や的確な噴火警報、噴火速報等の発表に必要な火山観測体制の強化を進める。

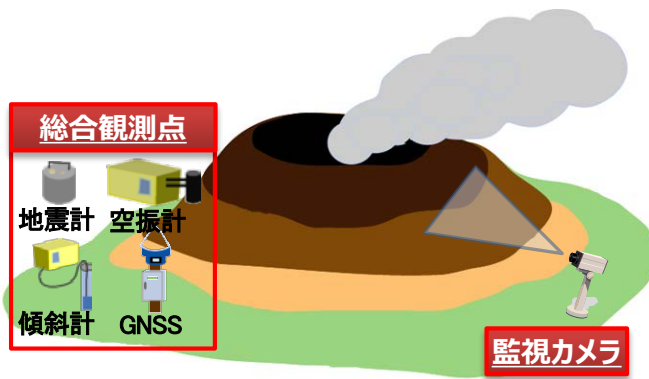
「地震観測施設の整備」

多機能型地震観測装置



- ① 多機能型地震観測装置の整備
 - ・発生した地震の規模や震源の位置を推定し、緊急地震速報や津波警報等を発表
- ② 震度観測装置の整備
 - ・防災対応の開始のきっかけとなる震度を観測し、震度情報を発表

「火山監視・観測用機器の整備」



- ① 総合観測点の整備
 - ・火山体及びその周辺の震動、地殻変動、噴火による空気振動を常に監視
- ② 監視カメラの整備
 - ・噴煙や噴出物の状態の変化を常に監視